

エコアクション21

環境経営レポート

(期間 2023年8月～2024年7月)



2024年10月31日発行

有限会社 瑛 建

徳島県海部郡海陽町大里字白水 64-1
TEL 0884-73-4855



®環境省
エコアクション21
認証番号 0005647

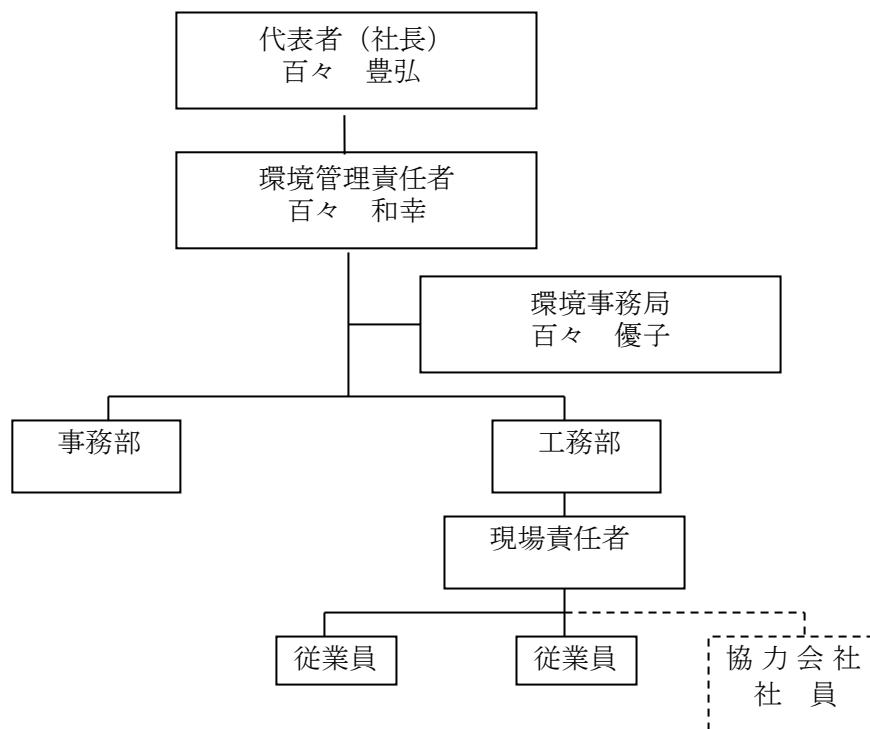
□ 組織の概要

- (1) 事業者名及び代表者名
有限会社 瑛建
代表取締役 百々 豊弘
- (2) 所在地
本 社 徳島県海部郡海陽町大里字白水 64-1
資材倉庫 徳島県海部郡海陽町大里字白水 64-1（本社と同一敷地内）
資材置場 徳島県海部郡海陽町大里字白水 56
- (3) 環境管理責任者及び担当者連絡先
環境管理責任者： 百々 和幸 TEL：0884-73-4855
担 当 者： 百々 優子 TEL：0884-73-4855
- (4) 事業内容
法面保護工事、交通安全対策工事、一般土木工事
- (5) 事業の規模（2023 年度）
完 成 工 事 高 6 2 百万円／年
従 業 員 8 名
事務所延べ床面積 1 2 0 m²
資材倉庫延べ床面積 1 8 0 m²
資材置場延べ床面積 7 0 0 m²
- (6) その他
事業年度 8 月～翌年 7 月
- (7) 許可関係
- ①一般建設業 許可
許 可 番 号 徳島県知事許可（般-4）第 6707 号
許 可 年 月 日 令和 4 年 6 月 25 日
許可の有効期間 令和 4 年 6 月 25 日から令和 9 年 6 月 24 日
建設業の種類 土木工事業 とび・土工工事業
- ②産業廃棄物 収集運搬 許可
許 可 番 号 徳島県知事許可 3600121155
許 可 年 月 日 令和 2 年 9 月 15 日
有 効 年 月 日 令和 7 年 8 月 21 日
取り扱う産業廃棄物の種類
木くず、金属くず、がれき類（以上 3 種類、特別管理産業廃棄物及び自動車等破砕物であるものを除く）
※ 産業廃棄物 収集運搬許可証は有しているが、許可当初から業務として他人の委託は受けていない。

□ 認証・登録の対象範囲

- (1) 登録事業者名 有限会社 瑛建
(2) 対象事業所 本社・資材倉庫、資材置場
(3) 対象外 なし
(4) 活動 建設業（土木工事業、とび・土工工事業）
(5) レポートの対象期間 2023 年 8 月 1 日～2024 年 7 月 31 日
(6) レポートの発行日 2024 年 10 月 31 日

□ 環境経営システム組織図



	役割・責任・権限
社長	- 環境経営に関する統括責任 - 環境経営システムの実施及び管理に必要な人、設備、費用、時間、技術者等を用意 - 環境管理責任者を任命 - 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 - 環境経営目標及び環境経営計画を承認 - 代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 - 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	- 環境経営システムの構築、実施、管理 - 法規制等の要求事項登録簿を承認 - 環境経営目標及び環境経営計画案を承認 - 環境経営活動の取組結果を代表者へ報告
環境事務局	- 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 「環境関連法規等チェックリスト」の作成 - 環境経営目標及び環境経営計画案の作成、実績集計 - 環境経営関連の外部コミュニケーションの窓口 - 環境経営レポートの作成
工務部長 事務部	- 現場における環境経営システムの実施 - 現場における環境経営方針の周知 - 現場に関連する環境経営目標及び環境経営計画の実施、達成状況の報告 - 特定された項目の手順書作成及び運用管理 - 現場の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録
現場責任者	- 現場の従業員に対する教育訓練の実施 - 環境経営計画の実施、管理 - 緊急事態の対応訓練実施 - 現場の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	- 環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 - 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□ 環境経営方針

企業理念

私たち有限会社 瑛建は、社会インフラとしての土木工作物の提供を通じて、刻々と進行している環境破壊を抑えるべく、社員一同が協力して環境負荷の低減を図るための環境保全活動に取り組みます。

方 針

当社は建設工事の事業活動における環境負荷を低減するために、次の方針に基づき、エコ活動を推進し地球環境保全のために活動します。

1. 当社の事業活動に関わる環境影響を常に認識し、自主的・積極的に環境活動に取り組み、継続的に環境経営を改善していきます。
2. 当社の事業活動に関わる環境関連の法令、徳島県条例、海陽町条例、その他を遵守します。
3. 当社の事業活動に関わる環境影響のうち、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。
 - ① 二酸化炭素排出量の削減（総エネルギー使用量の削減）
 - ② 水資源使用量の削減
 - ③ 廃棄物の削減及びリサイクルの推進
 - ④ 事務用紙使用量の削減
 - ⑤ 事務所周辺の清掃
 - ⑥ 環境を配慮するリサイクル施工
4. 一人ひとりが環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、この環境経営方針を全従業員に周知するとともに、環境経営レポート等で社外へも公表します。

上記の方針達成のために、目標を設定し、定期的に見直し、地球環境保全を推進します。

制定日 2009年8月 1日
改定日 2019年9月20日

有限会社 瑛建
代表取締役 百々豊弘

□ 単年度及び中期の環境経営目標（2022 年度～2025 年度）

削減が目標である項目は、2018 年度～2021 年度の実績平均値を基準として毎年 1 % ずつ削減し、2025 年度には 4 % 削減を目標とする。

	基準値	2022 年度目標	2023 年度目標	2024 年度目標	2025 年度目標
項 目	2018 年度～ 2021 年度 実績の平均値	2022 年 8 月～ 2023 年 7 月 (基準値の-1%)	2023 年 8 月～ 2024 年 7 月 (基準値の-2%)	2024 年 8 月～ 2025 年 7 月 (基準値の-3%)	2025 年 8 月～ 2026 年 7 月 (基準値の-4%)
二酸化炭素排出量 (kg-CO2/年) ※1	74,340	73,597	72,853	72,110	71,366
CO2 排出量の完成工事高に 対する割合(kg-CO2/百万円)	881	872	863	855	846
電力使用量 (kWh/年)	5,745	5,688	5,630	5,573	5,515
燃料 (L/年)	25,998	25,738	25,478	25,218	24,958
水資源 (m ³ /年)	352	348	345	341	338
一般廃棄物 (kg/年) (単純焼却+最終処分)	37	36.6	36.3	35.9	35.5
特定建設資材廃棄物の リサイクル率 (%) ※2	100	100	100	100	100
紙使用量 (kg/年)	17	16.8	16.7	16.5	16.3
事務所周辺の清掃 (回/年)	5	6	7	8	9
環境配慮のリサイクル 施工 (品目/年)	8	9	10	11	12

※1 (1) 二酸化炭素排出係数 0.569kg-CO2/kWh (2020 年度四国電力、公表 2022 年 1 月 13 日)
(2) 基準値の二酸化炭素排出係数は 2020 年度調整後排出係数 0.569(kg-CO2/kWh)に換算。

※2 産業廃棄物は工事内容によって排出量が大きく異なるため、特定建設資材廃棄物(建設発生木材、アスファルト・コンクリート塊、コンクリート塊)のリサイクル率 100%を目標とする。

※化学物質の使用はありません。

□ 環境経営計画

①電力使用量の削減	・夏場の冷房温度を下限 28℃に設定する ・冬場の暖房温度を上限 20℃に設定する ・照明機器、クーラー、窓の掃除を年一回実施する ・パソコン、プリンター等を使用しないときは電源を切る ・休憩時間は、倉庫、事務所を消灯する
②燃料使用量の削減	・車両(営業、運搬)エコ安全ドライブ (ふんわりアクセル、はやめのアクセルオフ、加減速の少ない運転、ゆとりある車間距離、アイドリングストップ、こまめの点検整備) ・建設機械の作業前点検をする。
③水資源使用量の削減	・コックを絞る ・漏水チェックをする
④廃棄物排出量の削減	・廃棄物の分別を徹底する ・リサイクルを心がける
⑤事務用紙使用量の削減	・社内用の事務用紙の裏紙使用の励行
⑥清掃活動	・社内、会社周辺の清掃等美化活動を推進する
⑦環境配慮の リサイクル施工	・使用する資材における再生資材等の環境配慮製品の情報を収集する ・再生資材を積極的に利用する

□ 実績

2023 年度（2023 年 8 月～2024 年 7 月）と過去 3 年間の実績

項 目	2020 年度 2020 年 8 月～ 2021 年 7 月	2021 年度 2021 年 8 月～ 2022 年 7 月	2022 年度 2022 年 8 月～ 2023 年 7 月	2023 年度 2023 年 8 月～2024 年 7 月 ※1	
	実績	実績	実績	目標	実績
二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂) ※2	65,930	76,756	62,046	72,853	54,084 (-26%)
CO ₂ 排出量の完成工事高 に対する割合(kg-CO ₂ /百 万円) ※2	741	903	705	863	872 (+1%)
電力使用量 (kWh/年)	5,129	5,457	4,433	5,630	4,192 (-26%)
燃料 (L/年)	23,180	26,984	23,597	25,478	20,559 (-19%)
水資源 (m ³ /年)	442	315	290	345	279 (-19%)
一般廃棄物 (kg/年) (単純焼却+最終処分)	34.5	37	37.3	36.3	33.2 (-9%)
特定建設資材廃棄物の リサイクル率 (%) ※3	100	100	100	100	100 (±0)
紙使用量 (kg/年)	17	14	14.7	16.7	15.0 (-10%)
事務所周辺の清掃 (回/年)	5	6	6	7	9 (+2)
環境配慮のリサイクル 施工 (品目/年) ※4	9	10	10	10	11 (+1)

※1 2023 年度実績の（ ）内は目標に対しての削減率。(実績-目標) / 目標 <四捨五入>

※2 二酸化炭素排出係数 0.569 kg-CO₂/kWh (2020 年度四国電力、公表 2022 年 1 月 13 日)

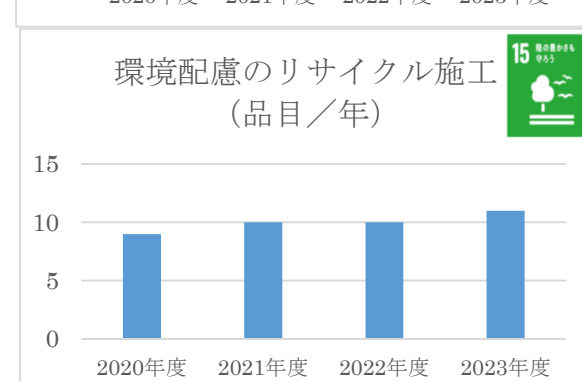
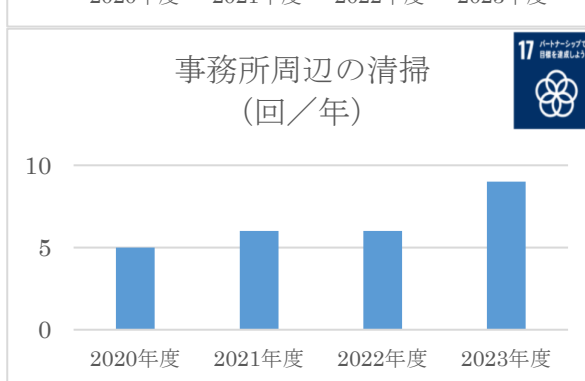
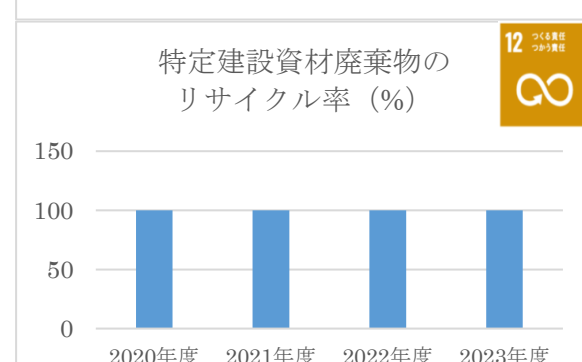
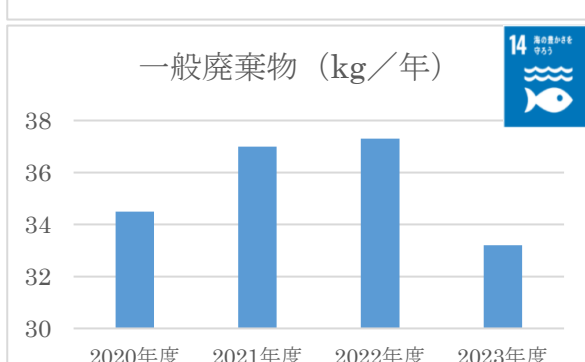
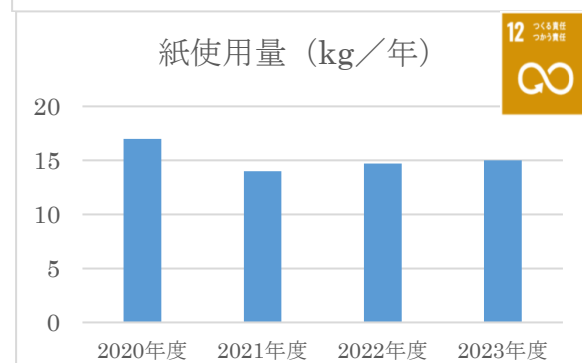
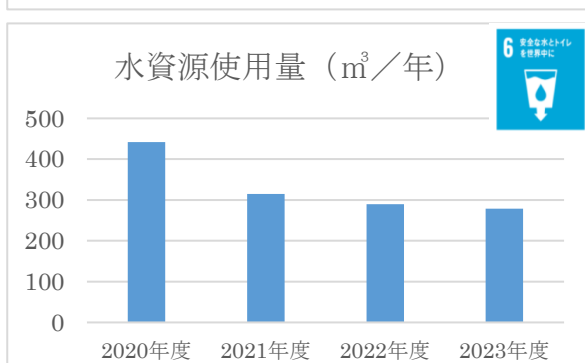
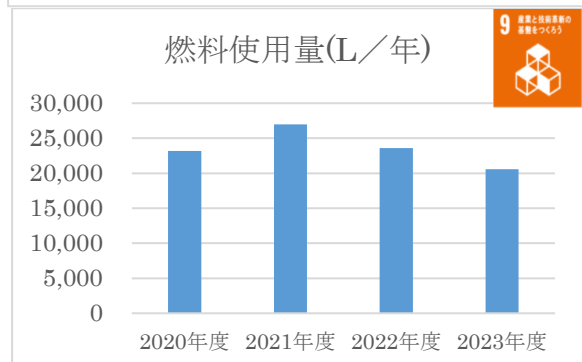
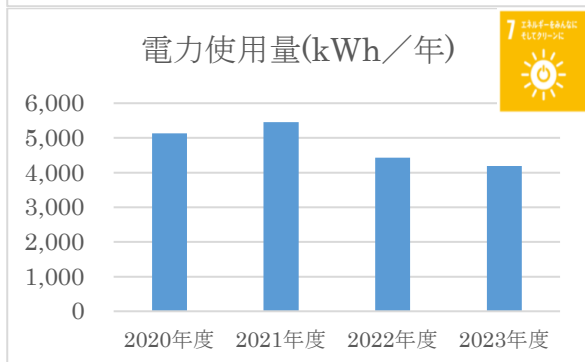
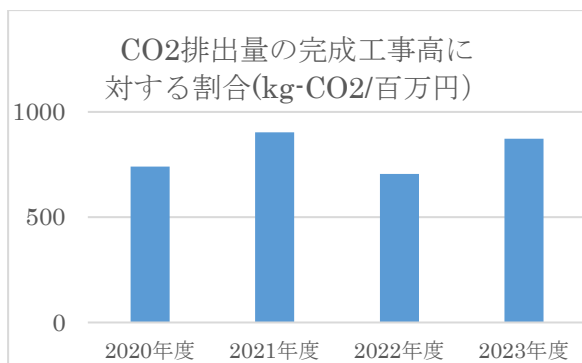
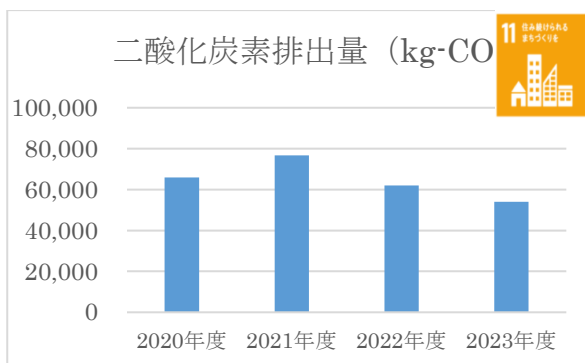
※3 再資源化量/排出量

産業廃棄物は、工事内容によって排出量が大きく異なるため、特定建設資材廃棄物（建設発生木材、アスファルト・コンクリート塊、コンクリート塊）のリサイクル率 100%を目標とする。

※4 2023 年度は、再生土のう、木柵、RC、再生紙、再生インク、再生黒板、再生チョーク、木製看板、NS パネル、研磨機、バーク堆肥を利用した。

※化学物質の使用はありません。

□ 実績値の推移



□ 対象となる持続可能な開発目標（SDGs）範囲



SDGs No.	項 目	当社対象 有無	備 考
1	貧困をなくそう		
2	飢餓をゼロに		
3	すべての人に健康と福祉を	○	事故防止のため安全衛生整備
4	質の高い教育をみんなに	○	環境教育の実施
5	ジェンダー平等を実現しよう	○	ハラスメント禁止
6	安全な水とトイレを世界中に	○	水道使用、節水
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	○	再生可能エネルギー使用、節電
8	働きがいも経済成長も	○	人材育成
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	○	低燃費、環境負荷低減
10	人や国の不平等をなくそう	○	性別、年齢等の差別禁止
11	住み続けられるまちづくりを	○	CO2 削減、エコドライブ
12	つくる責任つかう責任	○	コピー用紙削減、環境配慮工事
13	気候変動に具体的な対策を	○	CO2 削減、省エネ、環境配慮工事
14	海の豊かさを守ろう	○	廃棄物の削減
15	陸の豊かさを守ろう	○	環境配慮のリサイクル施工
16	平和と公正をすべての人に	○	性別、年齢等の差別禁止
17	パートナーシップで目標を達成しよう	○	地域の清掃活動

□ 環境経営計画の取組結果と次年度の取組内容(2023 年 8 月～2024 年 7 月)

取り組み計画	達成状況	結果と次年度の取組内容
■二酸化炭素排出量の削減	目標：72,853kg-CO2 実績：54,084kg-CO2 ○ 完成工事高に対する割合 (kg-CO2/百万円) 目標：863 実績：872 ×	CO2 削減：目標達成。 引き続き作業効率の向上に努める。 割合：目標未達成。 決算期をまたぐ工事に左右されるので、実績値に基づいた評価も検討する。
①電力使用量の削減 ・エアコンの温度設定 ・エアコン、窓などの掃除 ・PC など不使用時は電源オフ ・倉庫、事務所の不要時の消灯	目標：5,630kWh 実績：4,192kWh ○	目標達成。 引き続き節電に取り組む。
②燃料使用量の削減 ・エコ安全ドライブ (アイドリングストップなど) ・建設機械の作業前点検	目標：25,478 L 実績：20,559L ○	目標達成。 引き続きエコドライブを心がける。
③水資源使用量の削減 ・コックを絞る ・漏水チェック	目標：345 m ³ 実績：279 m ³ ○	目標達成。 引き続き節水につとめる。
④廃棄物排出量の削減 ・分別の徹底 ・リサイクル	一般廃棄物 目標：36.3kg 実績：33.2kg ○ 特定建設資材廃棄物の リサリサイクル率 目標：100% 実績：100% ○	一般廃棄物：目標達成。 ミспリントをなくすよう、印刷 前チェックを欠かさない。 特定建設資材廃棄物：目標達成。 引き続き分別及びリサイクル 100%を めざす。
⑤事務用紙使用量の削減 ・両面印刷、集約印刷、裏紙使用	目標：16.7kg 実績：15.0kg ○	目標達成。 引き続き印刷ミスを減らす。
⑥清掃活動 ・清掃美化活動の推進	目標：7 回／年 実績：9 回／年 ○	目標達成。 引き続き会社周辺の除草・片付け や現場での美化活動を行う。
⑦環境配慮のリサイクル施工 ・環境配慮製品の情報収集 ・再生資材の積極的利用	目標：10 品目 実績：11 品目 ○	目標達成。 引き続き再生資材の情報収集、利 用に努める。

備考：○は目標達成 ×は未達成を表示

□ 環境関連法規制等の順守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される施設等
廃棄物処理法	産業廃棄物
建設リサイクル法	土木工事 500 万円以上
オフロード法	建設機械
騒音規制法	空気圧縮機
振動規制法	ブレーカー
浄化槽法	浄化槽
フロン排出抑制法	業務用エアコン

環境関連法規制等の順守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。
また、過去3年間にわたって違反や訴訟ありませんでした。

□ 代表者による全体評価と見直し・指示

原単位（完成工事高に対するCO2排出量の割合）は、決算期をまたぐ大きな工事があったため目標未達成だったと考えられる。

他の目標は達成。実績値も概ね減少した。

重機の買い替えやLED電灯への交換を行ったので、今後のCO2削減に期待しつつ、引き続き環境に配慮したエコ活動に積極的に取り組んでいきたい。

【環境経営方針】	変更の必要性	：	なし
【環境経営目標・環境経営計画】	変更の必要性	：	なし
【環境経営システム】	変更の必要性	：	なし
【実施体制】	変更の必要性	：	なし